

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991700046		
法人名	(株)イーエルイー		
事業所名	グループホーム カーサ西八幡		
所在地	甲斐市西八幡1707-1		
自己評価作成日	令和 3 年 12 月 25 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 4 年 2 月 18 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>◎その人らしく暮らせるように、快適で家庭的な生活をサポートします。 ◎心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。 ◎さまざまな機会を通じ、地域の人々とのふれあいを大切にします。 上記3つの理念を念頭に置きながら、認知症のご入居者様がマイペースに自分らしく生活ができるように職員は支援している。新型コロナウイルス感染防止のため外出レクは中止しているが、なるべく外へ出る機会を作り心身共に健康に過ごせるように実践している。また、ご本人様やご家族様の希望により、在宅医や施設看護師、訪問看護と連携を取りながら看取りや健康管理を行い終の棲家として安心して生活できるように支援している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、公園に隣接し、周辺には、商業施設や医療機関、学校や幼稚園もあり、住みやすく恵まれた立地にあります。職員は、理念の「その人らしく暮らせるように」をモットーに、入居者個々の持っている力を絶やさぬように散歩に出かけたり、トイレでの排泄を定時に促すアプローチの継続や、入浴への誘導もその日その時の一人ひとりの状態を見極めて、出来るだけスムーズに気分良く入って頂けるように、日常生活の支援に真摯に取り組んでいました。また、施設看護師を専属で配置し健康管理体制を整え、訪問看護師との連携を図ることで、医療機関との関係も良好に保たれています。利用者・ご家族にも安心して利用して頂けるような快適で家庭的な運営を目指し、最後の最後まで心をこめた親切な介護に職員全員で邁進していました。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各職員に理念に基づいた支援ができるよう意識の共有を図るようにしている。	各職員に理念に基づいた支援ができるよう意識の共有を図るようにしている。	3つの理念をフロアや事務所に掲示し開所当初より、心を込めた親切なサービスに努め、その人らしく暮らせるように、家庭的な生活のサポートを展開し、地域に根差したふれあいを大切に運営していました。新人育成に取り組む際も理念を基に心を込めたサービス支援に邁進していました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や防災訓練に参加させていただき参加できるご入居者様は地域の方と交流をしている。また、散歩などに行ったときはあいさつや地域の顔なじみの方と会話をしている。	地域の行事や防災訓練に参加させていただき参加できるご入居者様は地域の方と交流をしている。また、散歩などに行ったときはあいさつや地域の顔なじみの方と会話をしている。	コロナ禍以前は、散歩に出かけると近所の知り合いの方と話が止まらず、ホームに戻る時間が遅くなってしまいう事もあったようです。地元地域からの入居者も多く、地域との交流は自然に行え、自治会青年会で作った豚汁も届けてもらうなど、友好な交流が成立していました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	同法人で認知症サポーター研修を開催し地域の方に参加して頂き、理解を深めて頂きました。新型コロナウイルス感染症が終息したら再び開催したいと思えます。	同法人で認知症サポーター研修を開催し地域の方に参加して頂き、理解を深めて頂きました。新型コロナウイルス感染症が終息したら再び開催したいと思えます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご入居者様、ご家族様、市役所担当者、自治会長に参加していただき2ヶ月に1回開催している。運営推進会議で出た意見・要望はすぐに職員に伝え共有し改善するべき所は改善しより良い支援に繋げている。	ご入居者様、ご家族様、市役所担当者、自治会長に参加していただき2ヶ月に1回開催している。運営推進会議で出た意見・要望はすぐに職員に伝え共有し改善するべき所は改善しより良い支援に繋げている。	コロナ禍になって、2年近くになりますが、2ヶ月に1度、書面でご入居者の状況を市や自治会等に報告していました。最新のご家族の意見・意向は、常に職員へのねぎらいの言葉ばかりで、常に応援してもらっている様子が伺え、日頃からの信頼関係が構築されていることが伺えました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	困ったことがあれば運営推進会議や直接市役所に出向くなどして相談させていただいている。また、市役所からの入居相談にも対応している。	困ったことがあれば運営推進会議や直接市役所に出向くなどして相談させていただいている。また、市役所からの入居相談にも対応している。	利用者ご家族との関係性を保つためのアドバイスを受けるなど、行政との連携もとれており、日頃からの深い関係性で協力体制が整っていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の定義などを職員と共に理解し、やむを得ない場合は必ずご家族様に状況説明と同意をいただいている。2か月に1回身体拘束廃止委員会を行い廃止の検討を行っている。	身体拘束の定義などを職員と共に理解し、やむを得ない場合は必ずご家族様に状況説明と同意をいただいている。2か月に1回身体拘束廃止委員会を行い廃止の検討を行っている。	入院から退院した際の安全性の確保をご家族にも理解してもらうことで、身体拘束に至った事例でも2ヶ月に1度の振り返りを行い、身体拘束解除に向けたアプローチを職員全員で取り組んでいました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で虐待防止の勉強会を行っている。今後も虐待防止に努め、職員へのストレス軽減も考慮した対話にも心がけるようにして行く。	会議等で虐待防止の勉強会を行っている。今後も虐待防止に努め、職員へのストレス軽減も考慮した対話にも心がけるようにして行く。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者権利擁護の研修には参加している。成年後見制度の研修にも今後積極的に参加して行く。	高齢者権利擁護の研修には参加している。成年後見制度の研修にも今後積極的に参加して行く。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は充分に時間をとり、ご入居者様、ご家族様が納得いただくまで説明をしている。ご入居された後も不明な点があればその都度お答えするようにしている。また、必ずご家族様の同意を得るようにしている。	契約の際は充分に時間をとり、ご入居者様、ご家族様が納得いただくまで説明をしている。ご入居された後も不明な点があればその都度お答えするようにしている。また、必ずご家族様の同意を得るようにしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から、ご入居者様やご家族様とは意見交換しやすい関係が出来ており、面会時はなるべく施設側から「何かありますか？」とお声がけさせていただいている。現在は中止している運営推進会議ではご家族様からの意見を伺う良い機会と捉え聞き入れ反映させている。	日頃から、ご入居者様やご家族様とは意見交換しやすい関係が出来ており、面会時はなるべく施設側から「何かありますか？」とお声がけさせていただいている。現在は中止している運営推進会議ではご家族様からの意見を伺う良い機会と捉え聞き入れ反映させている。	コロナ禍でも、ご家族の希望に沿った面会を実施できるように工夫して、玄関先にビニールシートで仕切った面会場所を作って今まで対応していました。ただ、現在の新型コロナ第6波時には、完全に封鎖した対応をとって、オミクロン対策に努めていました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロアー会議などで職員の意見を聞き、運営に反映させるようにしている。	毎月のフロアー会議などで職員の意見を聞き、運営に反映させるようにしている。	コロナ禍で職員への負担も多くなっており、利用者への声掛け一つから職員の変化に気づき、管理者として直ぐにその場で話を聞き取る対応で、良好な関係性を築けるように努めていました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の社長や管理職等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声かけ・指導している。また、各職員の労働条件などを把握し働きやすい環境になるように心がけている。	法人の社長や管理職等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声かけ・指導している。また、各職員の労働条件などを把握し働きやすい環境になるように心がけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護経験が浅い職員にはまず現場で管理者やリーダーが丁寧に教えるようにしている。また、フロアー会議で勉強会を行い知識を増やしてもらうようにしている。	介護経験が浅い職員にはまず現場で管理者やリーダーが丁寧に教えるようにしている。また、フロアー会議で勉強会を行い知識を増やしてもらうようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今現在は他施設交流は中止している。同法人のグループホームとは相互訪問等行えるのでお互いの知識の共有などをしながらサービスの質の向上を行っている。	今現在は他施設交流は中止している。同法人のグループホームとは相互訪問等行えるのでお互いの知識の共有などをしながらサービスの質の向上を行っている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様とは納得がいくまで話し、不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。	ご入居者様とは納得がいくまで話し、不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様とは納得がいくまで話し、不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。また、ご入居者様の立場になり代弁者としてご家族様と支援の話し合いをしている。	ご家族様とは納得がいくまで話し、不安感がないようにしたうえでサービスの導入を行っている。また、ご入居者様の立場になり代弁者としてご家族様と支援の話し合いをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	納得がいくまで話し合いを行い情報収集をし、色々な方面から見て判断し、必要があれば他のサービス利用も検討しながら施設での生活が快適に行えるように支援している。	納得がいくまで話し合いを行い情報収集をし、色々な方面から見て判断し、必要があれば他のサービス利用も検討しながら施設での生活が快適に行えるように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームは生活の場であって職員は家族のような存在であるという気持ちを持つようにしている。よって、家族のように温かい気持ちでご入居者様に接することができ、ご入居者様も楽しく生活が出来ていると思う。	グループホームは生活の場であって職員は家族のような存在であるという気持ちを持つようにしている。よって、家族のように温かい気持ちでご入居者様に接することができ、ご入居者様も楽しく生活が出来ていると思う。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍においてもご家族様とご入居者様が会えないのはお互い不安になることを鑑みて感染防止対策をしっかりと行っただうで面会ができるように支援している。ご家族様が施設に来ることによって情報の共有や相談ができる体制を維持できている。	コロナ禍においてもご家族様とご入居者様が会えないのはお互い不安になることを鑑みて感染防止対策をしっかりと行っただうで面会ができるように支援している。ご家族様が施設に来ることによって情報の共有や相談ができる体制を維持できている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今現在はご家族様以外の面会は中止しているが、コロナ禍以前はご近所のお友達が遊びに来られたり、同法人からの入居もあるためそこからご友人が遊びに来られてお茶を飲みながらお話しされている。	今現在はご家族様以外の面会は中止しているが、コロナ禍以前はご近所のお友達が遊びに来られたり、同法人からの入居もあるためそこからご友人が遊びに来られてお茶を飲みながらお話しされている。	コロナ禍になる前は、サービス付き高齢者住宅から入居された利用者の所へ、面会に来た方も自分の部屋に招き入れるなどして自由に交流を楽しめる環境作りを努めていました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士で会話が成立することが難しいので職員が間に入り、スムーズに会話ができるように支援している。	ご入居者様同士で会話が成立することが難しいので職員が間に入り、スムーズに会話ができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、必要があれば相談・支援に応じている。	サービス終了後も、必要があれば相談・支援に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	先ずはご本人様に聞いて可能な限り希望に添えるようにしている。ご本人様が言えない場合は、今までの生活歴やご家族様に意見を聞き情報収集をして、ご本人様の希望に添えるような支援を心がけている。	先ずはご本人様に聞いて可能な限り希望に添えるようにしている。ご本人様が言えない場合は、今までの生活歴やご家族様に意見を聞き情報収集をして、ご本人様の希望に添えるような支援を心がけている。	コロナ禍で自粛生活を続ける中で、外に出たいという希望は会話の関わりで何とか解消していましたが、限界を感じるようになり、ドライブを実施していました。管理者が率先して行動に移すことで、ホーム内の雰囲気も穏やかになり、ゆとりある職員対応を導き出し、個々の意向やその時々々の行動を察知し、安心できる暮らしに繋げていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴、家族関係、趣味など情報収集を行い家にいた時と同じような生活が継続して施設でもできるようにしている。	これまでの生活歴、家族関係、趣味など情報収集を行い家にいた時と同じような生活が継続して施設でもできるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事と入浴以外にはあまり細かい決まりを作らず、マイペースに生活ができるようにしている。	食事と入浴以外にはあまり細かい決まりを作らず、マイペースに生活ができるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のフロアー会議で各ご入居者様のカンファレンスを行っている。また、ご家族にも意見を伺い介護計画にも反映させている。	月に1回のフロアー会議で各ご入居者様のカンファレンスを行っている。また、ご家族にも意見を伺い介護計画にも反映させている。	コロナ感染症が流行後に入居された方が多く、そんな中でもゆっくりと生活歴を聞き取るように、アセスメントをしっかりと行い介護計画を作成していました。その後の面会の際にモニタリングを行うなど、感染予防対策を行う中で、お茶を飲みながらご家族の率直な意見を聞き取るように努めていました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に支援経過を書いており、簡潔に様子がわかるように記録し、どの職員が見てもわかるようにしている。また全体の介護記録や引継ぎノート・気づきノートがあり、情報の共有を図るようにしている。	個々に支援経過を書いており、簡潔に様子がわかるように記録し、どの職員が見てもわかるようにしている。また全体の介護記録や引継ぎノート・気づきノートがあり、情報の共有を図るようにしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度のニーズにはご家族様とも相談しながら柔軟に対応している。	その都度のニーズにはご家族様とも相談しながら柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍以前は近所の方たちと散歩時に挨拶やお話をしたり、近所のお店を利用したり、顔なじみの関係でいられるように努めている。	コロナ禍以前は近所の方たちと散歩時に挨拶やお話をしたり、近所のお店を利用したり、顔なじみの関係でいられるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本は家族対応で受診をお願いしているが、今は新型コロナウイルス感染防止のためなるべく施設対応で受診をしている。また、入居している方全員が在宅医に訪問診療をお願いしている。	基本は家族対応で受診をお願いしているが、今は新型コロナウイルス感染防止のためなるべく施設対応で受診をしている。また、入居している方全員が在宅医に訪問診療をお願いしている。	入居時にかかりつけ医を聞き取り、希望に沿った対応に努めていました。緊急時には地域医療として2名の医師を確保し、その後の専門医に繋げるなど、職員が受診対応も行っていました。また、施設看護師を専任で配置し、日々の体調をしっかり把握して、安心して利用できる体制を整えていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職と施設看護師と訪問看護が連携しご入居者様の健康管理を行っている。夜間も電話相談や状況により訪問していただき、在宅医と連携しながらご入居者様やご家族様が安心して生活ができるように支援している。	介護職と施設看護師と訪問看護が連携しご入居者様の健康管理を行っている。夜間も電話相談や状況により訪問していただき、在宅医と連携しながらご入居者様やご家族様が安心して生活ができるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご入居者様が入院した際の情報提供などは適宜行っている。また、面会やカンファレンスなどに出向き情報把握に努めている。	ご入居者様が入院した際の情報提供などは適宜行っている。また、面会やカンファレンスなどに出向き情報把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の希望で在宅医や訪問看護・施設看護師・介護職と連携を取りながら看取りを行っている。施設で出来る事、できない事を十分に話し合い、ご本人様、ご家族様の意向を聞きながら対応している。また、看取りに関する職員研修も行い、ご入居者様やご家族様が安心して日々を過ごせるよう取り組んでいる。	ご本人様やご家族様の希望で在宅医や訪問看護・施設看護師・介護職と連携を取りながら看取りを行っている。施設で出来る事、できない事を十分に話し合い、ご本人様、ご家族様の意向を聞きながら対応している。また、看取りに関する職員研修も行い、ご入居者様やご家族様が安心して日々を過ごせるよう取り組んでいる。	重症化や終末期に向けた対応は、利用者・ご家族の意向に沿った対応を展開し、今年に入ってからの一人の看取りを行っていました。今回は利用者自身の複雑な生い立ちやビック病状も顕著に出るなど、色々な看取りケースを経験していました。その時々管理者を中心に職員全員で最善を尽くした看取りの対応を実践していました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フロアー会議などで急変時における対応の勉強会を行っている。	フロアー会議などで急変時における対応の勉強会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	コロナ禍以前は年2回、ご入居者様と職員で防災訓練を行っていた。その際、消防署に立ち合いをお願いし、意見を聞きながらご入居者様が安全に避難できるように訓練している。	コロナ禍以前は年2回、ご入居者様と職員で防災訓練を行っていた。その際、消防署に立ち合いをお願いし、意見を聞きながらご入居者様が安全に避難できるように訓練している。	コロナ禍の中、外部からの立ち合い訓練は出来ない状況ですが、今まで行ってきた訓練を基に、災害に備えた備品等の点検や、火災を想定した、昼・夜間それぞれの体制で訓練を実施していました。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様は認知症である前に長い人生を歩んでこられた先輩であることを十分理解し、丁寧な声掛け、対応を心がけている。また、その方のペースに合わせたゆったりとした支援を心がけている。	ご入居者様は認知症である前に長い人生を歩んでこられた先輩であることを十分理解し、丁寧な声掛け、対応を心がけている。また、その方のペースに合わせたゆったりとした支援を心がけている。	「その人らしく暮らせるように」を理念に掲げ、利用者の気持ちに配慮した声掛けて、呼び方も利用者の反応が良い呼び方を検討するなど、居心地の良い暮らしの提供に心掛け、人生の先輩として人格を尊重した「心を込めた親切なサービス」の提供に努めていました。	

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずはご本人様に確認し、希望が言える方は希望を伺っているが、希望が言えない方はご家族様に聞くなどし、なるべく希望に添った自己決定が出来るようにしている。	まずはご本人様に確認し、希望が言える方は希望を伺っているが、希望が言えない方はご家族様に聞くなどし、なるべく希望に添った自己決定が出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴の時間は決まっているが、それ以外にはご本人様のペースに合わせた生活が出来るようにしている。	食事の時間や入浴の時間は決まっているが、それ以外にはご本人様のペースに合わせた生活が出来るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様の希望に添った服装、おしゃれが出来るように支援している。	ご本人様の希望に添った服装、おしゃれが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嚥下困難な方もいるので、状態にあわせてミキサー食にしたり、その方に合った形態で食事を提供している。また、テーブル拭きや食器拭きなど出来ることはなるべくしていただくようにしている。	嚥下困難な方もいるので、状態にあわせてミキサー食にしたり、その方に合った形態で食事を提供している。また、テーブル拭きや食器拭きなど出来ることはなるべくしていただくようにしている。	栄養バランスの取れた調理済み宅配の食事を提供し、配膳前のテーブル拭きや食器洗い等も、日々の利用者の動きや雰囲気を見極めて、声をかけて手伝ってもらっていました。季節行事の際は、おやつづくを計画し、パレンティンにはチョコレート、ひな祭りには甘酒を作ったりして利用者の皆さんの楽しみに繋げていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は委託業者が考えたバランスの良い食事を温めて提供している。嚥下の状態に合わせて食事形態を変更し、むせがなく食事が出来るように工夫している。水分摂取も確認を行い、少ない方には促したり、ゼリーなどで摂取していただいている。	献立は委託業者が考えたバランスの良い食事を温めて提供している。嚥下の状態に合わせて食事形態を変更し、むせがなく食事が出来るように工夫している。水分摂取も確認を行い、少ない方には促したり、ゼリーなどで摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、出来ない所は介助をしながら行っている。ご本人様やご家族様の希望があれば訪問歯科とも連携がとれるように支援している。	毎食後口腔ケアを行い、出来ない所は介助をしながら行っている。ご本人様やご家族様の希望があれば訪問歯科とも連携がとれるように支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを活用し、各ご入居者様の排泄パターンを把握し、それに合わせて声掛けしたり、トイレ誘導し、なるべくトイレで排泄ができるようにしている。	排泄チェックシートを活用し、各ご入居者様の排泄パターンを把握し、それに合わせて声掛けしたり、トイレ誘導し、なるべくトイレで排泄ができるようにしている。	車椅子生活の利用者さんは、定時排泄でトイレに誘導し、布パンツ利用の方、リハビリパンツ利用の方といった、個々の自立能力に沿った排泄支援に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の日課として歩行できる方は歩行訓練をしたり、ラジオ体操などを行って自然排便が出るように努めている。水分摂取量も把握し便秘の予防に努めているが、それでも便秘になる方には主治医と相談し、下剤等の処方をしていただいている。	日々の日課として歩行できる方は歩行訓練をしたり、ラジオ体操などを行って自然排便が出るように努めている。水分摂取量も把握し便秘の予防に努めているが、それでも便秘になる方には主治医と相談し、下剤等の処方をしていただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間は職員の配置が多い時間と決めているが、毎日入りたい方は毎日でも入浴可能となっている。	入浴の時間は職員の配置が多い時間と決めているが、毎日入りたい方は毎日でも入浴可能となっている。	その日その日の体調や気分に沿った支援を展開し、週に2回以上の入浴サービスを目標に、実現に向けて日々のアプローチを繰り返していました。入浴可能な雰囲気を見逃さない様に観察し、1日3人の入浴を自安に、記録をとることで引き継ぎして、無理強いしない支援に繋げていました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は、各個人の休みたい時間に休んでいたが、寝れない方は落ち着くまで夜勤者とフロアで話をしたりしている。夜間不眠で日中に影響が出てしまうような方には、主治医と相談し眠剤を処方していただいている。	就寝時間は、各個人の休みたい時間に休んでいたが、寝れない方は落ち着くまで夜勤者とフロアで話をしたりしている。夜間不眠で日中に影響が出てしまうような方には、主治医と相談し眠剤を処方していただいている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム カーサ西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(さくら)	ユニット名(けやき)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	何の薬を飲んでいるか各職員にしっかり把握してもらっている。また、看護師から適宜説明を行うようにしている。	何の薬を飲んでいるか各職員にしっかり把握してもらっている。また、看護師から適宜説明を行うようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の好きな事は積極的に行って頂くようにしている。じっくり取り組みなかつたりする事も多いが励ましたり手伝ったりしながら支援している。	ご本人様の好きな事は積極的に行って頂くようにしている。じっくり取り組みなかつたりする事も多いが励ましたり手伝ったりしながら支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のの人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなか自分から希望を言える方は少ないが、歩行状況を見ながら公園まで散歩をし、車いすの方も外気浴が出来るように支援している。また、コロナ禍以前はお花見や紅葉見学・外出レクなどを積極的に進めていた。	なかなか自分から希望を言える方は少ないが、歩行状況を見ながら公園まで散歩をし、車いすの方も外気浴が出来るように支援している。また、コロナ禍以前はお花見や紅葉見学・外出レクなどを積極的に進めていた。	コロナ禍以前は、積極的に外出を提供し、散歩や外出レクを行っていました。今現在、コロナ感染症第6波に当たっては、完全閉鎖対応をしていますが、今後の状況に応じて、花見や散策などの外出計画を立てていく予定ということです。前向きな姿勢で自粛生活解消時期を待ちわびていました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に事務管理にさせていただいているが、少額ならご本人様が管理されている方もいる。買い物に行きたいと意向があれば付き添いを行い支援している。	基本的に事務管理にさせていただいているが、少額ならご本人様が管理されている方もいる。買い物に行きたいと意向があれば付き添いを行い支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙などの希望があれば、いつでも支援している。	電話、手紙などの希望があれば、いつでも支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節感のある装飾をし、室温も適温になるように気を付けている。また、車いすのご入居者様もいるため通路には歩行を妨げるようなものは置かないようにしている。	共有スペースには季節感のある装飾をし、室温も適温になるように気を付けている。また、車いすのご入居者様もいるため通路には歩行を妨げるようなものは置かないようにしている。	フロア以外の所々にソファを置くことで、一人の時間や職員・仲間との時間など、その時々思いに沿って楽しんでもらえるように配置されていました。通路には歩行の妨げになる物を置かない様に配慮し、共用スペースの壁面には四季折々の飾り付けを施すなど、居心地の良い空間づくりに努めていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには一人になれる空間はないが、フロア以外にも所々にソファが配置してあるので、仲の良い方同士が話をしたり職員と話したり思い思いに過ごせるように工夫している。	共有スペースには一人になれる空間はないが、フロア以外にも所々にソファが配置してあるので、仲の良い方同士が話をしたり職員と話したり思い思いに過ごせるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	クローゼットやベッドは備え付けてあるが、家で使用していた物を持ち込んでいただき、家と同じような雰囲気でご過ごせていただけるようにしている。	クローゼットやベッドは備え付けてあるが、家で使用していた物を持ち込んでいただき、家と同じような雰囲気でご過ごせていただけるようにしている。	各部屋はフローリングで、クローゼットやベッド、エアコン、洗面台、カーテンも整備されていました。入居時には、使い慣れた家具やテレビ等を持ち込んで、壁には絵や写真を貼れるスペースもあり、家族の写真を貼るなどして、安心して過ごせる部屋作りに努めていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設には防犯のためと方が一に備えて防犯カメラが設置されている。フロアや居室はバリアフリーとなっており、自由に行き来することが可能。また、カメラに頼ることなく、見守りを重視しながらご入居者様が安全に生活が送れるように心がけている。	施設には防犯のためと方が一に備えて防犯カメラが設置されている。フロアや居室はバリアフリーとなっており、自由に行き来することが可能。また、カメラに頼ることなく、見守りを重視しながらご入居者様が安全に生活が送れるように心がけている。		